



MARIANNEBOLLE
Beat Synchronizer

ときめきいざない書



Takimeki Navigation's Baak



ときめきいざない書

この書は、みなさんの心の中にときめきをおこし、みなさんをときめき音楽人へといざなう為の物語をしたためたものです。生命の尊さ素晴らしさを支えているのは、人間の「ときめき」なんです。生命をときめかせる意識を芽生えさせることなんです。人を元気に生き活きとさせるには、あなた自身の心にときめきを生みだす意識の母体をつくることなんです。味わうようにじっくりとお読みください。何度も読み返しているうちに写真や文章の真の意味が見えてきます。そうすると、この書をつくった人々がいかにときめいて生き活きとつくったかが実感できるでしょう。本当は、その創造のエネルギーそのものをみなさんの意識に入れて共に生き活きしてもらいたいのです。

この書に登場する映像は、インドネシアのバリ島のシーンがほとんどです。神を心に宇宙と交信し大地に恋し、地球生態系のリズムに添って優美にシンプルに人生を楽しみ尽くしている人々が今も暮らしているバリ島。私達は、この島に地球の未来と人間の本質を観る想いがします。質素でいて心地良い暮らし、生ゴミを出さず残り物を家畜に与え人間以上に神様への「おそなえ」に心を尽くす生き方。私達日本人が失おうとしている幸せや生きがい豊かな暮らしの在り方が、バリ島には永々と残っているのです。特にバリ島の中でも、極め付きの時間帯をこの書の芳醇な香りとして映像化し掲載しました。

生命宇宙の自然の摂理に素直にしなうように添うことから、
今迄見えなかったあらゆる現象がどんどん見えてくるのです。



ときめく、

宇宙からやってくる際には見えない一筋のメッセージが、心のひだにぶつかって何かが生まれ、一瞬に消え、又、生まれ消えていきます。頭ではなく、細胞や神経が、自発的に察知する身近な未来の予感に、人の心は、訳もなく「ときめく」ことがあります。



響く、

ときめく、そして……

ときめく心を人に伝えたい、そう考える時どんな方法で、誰にメッセージを送ればよいのでしょうか。知性ではなく、感性に触れて響きあう、同周波数の人の気配を求めて、人々は、今日も意識の旅をしているのかもしれません。



奏でる、

ときめく、響く、そして……

ときめく心を本当に伝えたいと思う、そんな人に出逢う、その感動を求めて人は生きています。同じ波長で、自分の心と他の人の心が響き合い、周囲に微妙なリズムをつくり、独特の調べを奏でていく時、人は生きている歓びに酔いしれます。



波動となる、

ときめく、響く、奏でる、そして……

ときめき、響き、奏でる、そんな人間と人間の共振作用が、社会に少しずつ小さな影響を与えはじめます。無心になって、社会の中に優しさを育もうとする素直な心が、根底から人の心にときめきを与え、やがて、それはゆっくりとした波動となって、より多くの人々の心を揺らしはじめます。



円環する、

ときめく、響く、奏でる、波動となる、そして……

ときめき響奏の波動は人々をさりげなく包みこみ、やがて、人々の周りを回り始める。ゆるやかに優しく、円を描くように線を結んでいきます。人々はやわらかく、しなやかに移動する美しい円環の輪に、やすらぎを感じ、自然にその輪の中に縋りこまれていきます。



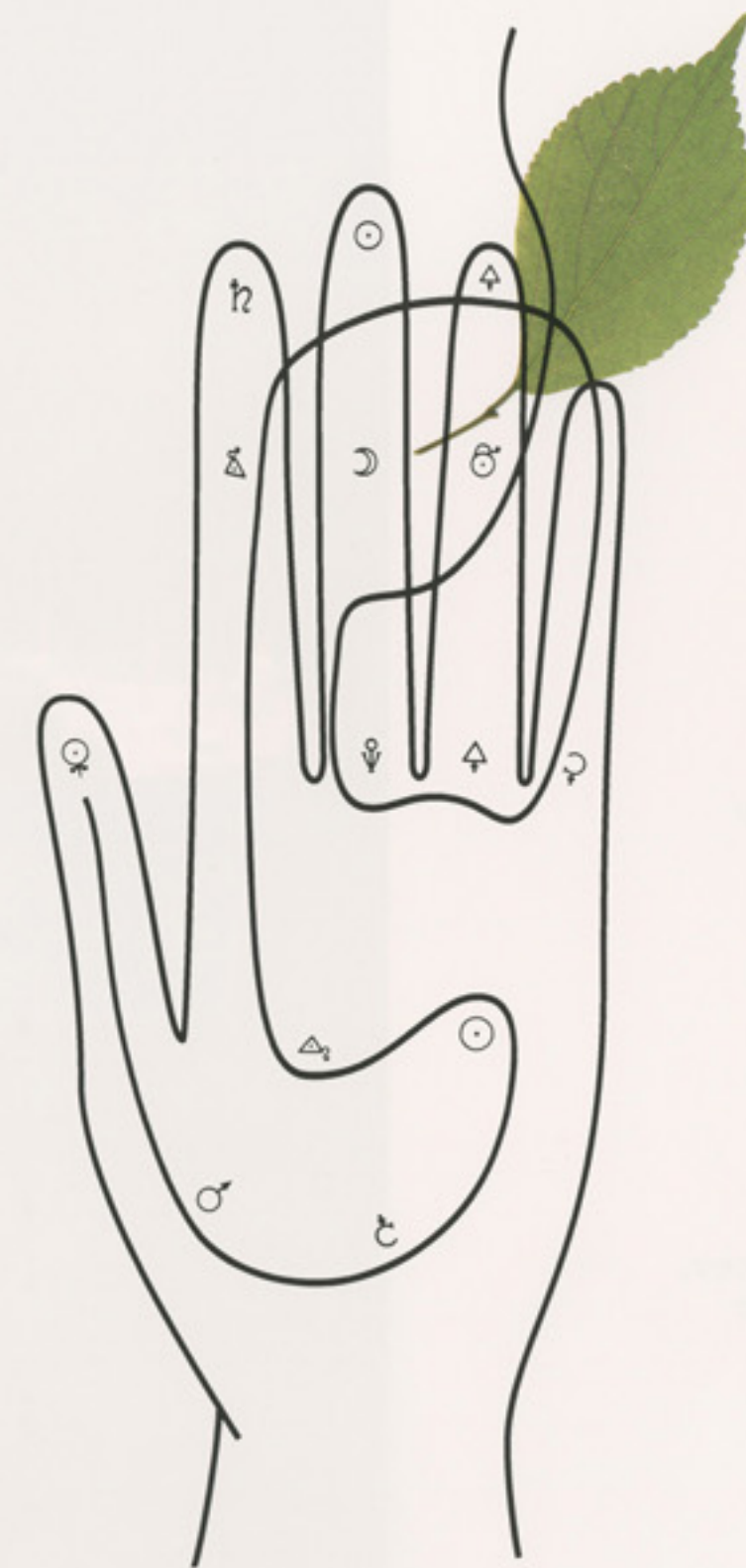
螺旋になる。

ときめく、響く、奏でる、波動となる、円環する、そして……

人々を包む円環の輪は、いつか、宇宙へ向かう螺旋の渦となって空間を漂い、ゆるやかに、しなやかに、その渦は昇っては降り、降りては昇ります。それは一定の整然としたリズムを創りだし、螺旋の渦の中では、人の心は空になり、気はたおやかに流れ、まるで「ときめき響奏曲」のシンフォニーの如く美しい調べが時空を巡ります。更に、その調べは循環を繰り返し、宇宙さえも包みこんでいくのです。

自分らしさを見つけるために。

「自分らしく生きる」そんなメッセージがいろんな書籍や雑誌やカタログのヘッドコピーになっています。自分らしく生きるってどんなことなのでしょう。自分らしさって誰が決めるんでしょう。自分らしさはつくるんです。誰も与えてはくれないんです。自分を好きになれる自分をつくっていくんです。自分をデザインしていく遊びを味わえないで生きる程不幸なことはありません。自分らしさをつくるには、まず自分を正確に知ることです。自分の眼の色、髪の色や質、自分の体形、自分の好きなモノやコト、好きな味や色、自分がどの場所で一番美しくときめくかをイメージするんです。それは自分を耕すということです。自分を耕す手法はこのあとの頁で詳しくでてきます。自分を耕して、自分を浮き掘りにして、そして一度その自分から離れてみるんです。遠くから眺めるんです。その自分を心からいとおしく愛してみようと決心するんです。誰よりも自分を自分が愛してあげるんです。自分らしさはそんな想いから生まれてきます。それを意識づくりと言うのです。



自分らしさを見つけるというのは
自分を愛すること
それには、自分を責めないこと
「もっとがんばらなければだめ」と
自分を責めないこと
「今のままでじゅうぶん魅力的だよ」と
今のままの自分を好きになること



自分を愛するとは
ほんとうに気に入るモノを見つけること
そして、モノに愛情を感じ
その愛情を素直に表現すること
人を好きになり
「好き」という気持ちをていねいに伝えること



自分を愛するとは
楽しくときめいて生きるための方法
愛する意識を高め
自分と同じように人を愛すること
ときめきを感じる「意識」を身につけて
生き活きと粋に生きること

意

人間はこうしたい、こうなりたいと思いつけると自然にそうなります。そう思わない人は永遠になれません。偶然には、なれないのです。これを意識の力といいます。こうしたい、こうなりたい、こうありたい、というイメージが明確であればあるほど、早くそうなります。難しく考えないでください。まず軽く「こんなふうになれたらいいなあ」、という感じで身近なテーマをつくってください。"もっと雰囲気のある女性になりたい" "もっと実力をつけてバリバリはたらきたい" "自分らしい部屋が欲しい" "自分らしい時間が欲しい" いろいろあるでしょう。こうありたいと想う力を高めるには意識の旅をはじめることです。心の中で旅をします。理想の自分になった時のことを考えて、イメージの旅をします。まず、自分を愛しましょう。自分の素晴らしいところを見つけ評価し、肯定し、許し、認め、愛し、尊敬するのです。自分を愛する、その愛に余裕が出たらその次にゆっくりと他に及ぼしていけばいいのです。意識の旅を楽しむ、まずそんな自分になりましょう！

あなたも意識の旅を
ごいっしょしませんか。

Conscious

識

旅がブームです。海外へも国内へも、人々はとりあえず出かけていきます。発見や感動を求めて動きつづけています。誰もが五感で味わう旅もあれば、自分でしか味わえない旅もあります。それを意識の旅といいます。意識の旅は、自由な旅です。パスポートもビザも旅券も要りません。時差もないし、おみやげもありません。いつでも、どこでも楽しめます。人間には、誰もがイメージする力が与えられています。イメージは、自分が本当に想っているモノやコト、ヒトを心の中に浮かべることから湧いてきます。イメージの源とは、未来への希望なんです。人も意識の旅で予想もつかない発見をしますが、実は、地球も意識の旅を続けているんです。科学的に分析すると、この大気圏には、酸素がなくなってもおかしくないそうです。なのに酸素は今もあり、生物は今日もこの地球に生きています。これ自体が偶然なんです。それは、地球が生きたいという意識を持っているから持続しているんだと思います。人間も生きる希望を失うと病気になり細胞が弱くなり死んでしまうこともあります。生きる意識が人を人間にしているんです。人間の生命は、意識の力によって支えられているんです。意識とは、英語でコンシャスといいます。ボディコンシャス「ボディコン」は、身体を意識するという意味です。そのコンシャスを環境保護に向けてみましょう。これをEARTH CONSCIOUS 地球意識といいます。意識とはおもしろいものです。意識の世界で生まれたことは、その意識から熟成し細胞に記憶され現実の世界で再現されることがあるんです。「想いが実る」ということです。イメージが浮かびおぼろげに形になり言葉になり物語りになっていくと意識に入っていきます。こんな自分になってみたい、そう想いつづけると、意識の力がはたらいて実っていくんです。想わないでいればいつまでも永遠に実りません。単なる憧れや羨望やねたまやグチで日々を過ごしていたら、永遠に意識はあなたの力になりません。ともかく、まず自分の意識の中に理想の自分を描いてください。そして、その自分に成っていくプロセスをイメージしてください。それを意識の旅というのです。



いったん情報を止めて自分の意識を土を耕すように丹念に掘って
いくと、自分の意識の素晴らしいところが、どんどん浮かび上
がってきます。意識は、その行為によって自分らしく確立して
いきます。こう生きればいいのか、自分はやっぱりこんなタイ
プでいいのかな、まず軽く考えることです。自分の好きな世界を
見つけるんです。ローラ・アシュレイの花柄の世界なのか、コム
デ ギャルソンのモノトーンの世界なのか、アニエスbのベーシ
ックなのか、何もひとつに決めることはありません。3つか4つ
ピックアップするんです。そして、その各々のオリジンがどうし
てできあがっているのかを見据えるんです。ローラ・アシュレイ
は、イギリスの伝統から生まれました。アニエスbは、パリの
下町のスタイルから生まれています。又、オリエンタルのチベッ
トやバリ島の味がとても好きな人もいますでしょう。その場合は
きっとその人の中に、その文化のルーツが細胞の記憶として入
っているんです。そんな決め事が浮かんでくれば、この溢れ返る
情報の社会にフリースタイルで飛びこんでいくことです。自分
に妥協せず決めたフレームの味に添わないモノは買わない、又、
取り入れないことです。本当に好きじゃないのに、たまたまとい
うのをおさえてみるんです。そうすると、溢れる情報は、ひ
とつの木のように整然と整理されていきます。取捨選択が容易
になります。要らない・関係のないモノを持たないんです。残
ったモノを自分なりに組み合わせてみると、自分だけの情報が
できあがります。もう情報化社会は、恐くなくなります。時代に
取り残されるところか時代をリードしていけるかもしれません。
そんな自分への自信がでてくると神経は水のように浄化してい
きます。素直になれ、時代の流れがゆっくりと見えてきます。
その次に、自分が何か新しいモノを創りだしたいという気持ちが
湧いてくるのを待つんです。それは、まるで星の王子さまが窓
辺からそっとしのびこんでくるようにやってきます。自分にこ
んな能力があったのかと疑う程、凄いことが簡単にできてしま
うことがあります。細胞が火のように活き活きと燃え創造のエ
ネルギーが発散するのです。まず耕す、耕しからでできたモノ
と世間の情報とを結ぶ、そうすると浄化し、次に粋に創造的に
生きる術が見つかるんです。それを耕結浄粋^{こうけつじやうさい}といいます。耕は
土・意識、結は木・情報、浄は水・神経、粋は火・細胞です。
次にこの実践をしてみましょう。

井戸は常に皆の生命を守る為に掘られました。
折りをこめて土の中を耕す作業です。
一人が掘りだすとやがて皆が集まり
協力するようになります。
“こうしたらいい”
“こうしたらもっと早く掘れる”
そんな情報もやってきます。
やがて人々の心はその作業を通して
ひとつに結ばれていきます。
水がでてきました。
勢いよく水が吹き出してきました。
感動が人々の心を包みます。
人々の心は浄化し、生命への希望が湧いてきました。
水は水面を満たし、人々は日々の生活を
確保することができました。

やすらぎ *Re.soul* 神経 浄水

井戸には美しい木の香りのする屋根がつけられ
4本の柱の傍に花が植えられました。
粋な自分達だけの素晴らしい井戸が完成したのです。
その廻りにはいつもいつも井戸を守り、集い、
語らう女性達の姿がありました。
自分の井戸を掘りましょう。自分を耕してみるのです。
自分の中に泉をみつけましょう。
自分の中には自分が好きになれる素晴らしい点が
いくつかあるはずです。
その中のひとつに的を絞りましょう。
的を絞ると意識が集中し自分の中のバラバラの想いが
ひとつに結ばれていきます。
結ばれていくプロセスで素敵な生き方のイメージがゆっくりと湧いてきます。
もやもや考えていたことが徐々に晴れ心は浄化していくでしょう。
すると昨日迄の自分とは違う粋な活き活きとした
自分に出逢うことができるのです。

自然 *Natural*

意識

耕

土



木



結

情報

Society

集い

絵ごころ *Art* 火 粋 細胞

「あなたって素晴らしい人なんですわ。」そう誰かに言われたら、一瞬どんな感じがしますか。ほとんどの人は、自分の素晴らしい点に気づかず暮らしています。“私には、少しこんな長所があるのかな”そう感じていても、それがどの位素晴らしいのかわからないでいる人がほとんどです。もったいないですね。人は各々一人一人が違います。双子の兄弟でも細胞は違います。人は一人一人がすべてオリジナルなんです。だから、素晴らしい点もひとつひとつその人自身のオリジナルなんです。まず、自分を客観的にみてください。もう一人の自分を傍において、自分に話しかけさせるのです。素晴らしい点を見つければ、自分の好きなこと、自分にピッタリあうことを見つければいいんです。もう一人の自分が語りかけます。「あなたは、本当は何が好きなの？どんなことがしたいの？」「そうね、何がしたいかなあ、何が好きなあ、やっぱりわたしが一番ホッとするのは、音楽を聞きながらこの秋どんな服を着ようかなあって考えている時かなあ。」「いっしょうけんめいケーキをつくっている、そんな時も意外と心が落ちついているのよね。」などと、もっともっとそのイメージを高めていって下さい。自分の生き方のイメージを高めていく時に大切なのは、自分の大切な「資産」を、ひとつひとつついでいに耕してみるということなんです。まず、1番目は、自分のお友達を思い浮かべます。又、仕事で関わっている人々も思い浮かべます。いったい私にはどの位のネットワークがあるんだろう。これを一度書きだしてみます。2番目は、自分の感じ方の能力を考えてみます。感動の仕方についてです。どんな時自分が感動したか、又、するのかについて書きだしてみてください。3番目は、自分の持っている大切な持ち



実践的

耕

浄結

粹

物について書きだしてみてください。恋人からのプレゼントや気に入っている絵や洋服、なんでもかまいません。ただ欲張らないで本当にお金に変えられないものとして考えてください。4番目は、自分の容貌の一番好きなところと自分の体力で自慢できるところを書いてみてください。5番目は、自分の顔や身体が世界中のどこの国の人と最も似ているかをイメージしてください。中国と答える人もいます。タイと答える人もいます。白系ロシアかも知れないと感じる人もいます。もし、家に系図でもあれば少し歴史をさかのぼってみてください。6番目は、自分が一番好きな時間と空間について考えてみてください。7番目は、自分の今までの経験や実績を全部できるだけ書いてみるのです。運転免許を持っていることや、テニススクールに一年も通った、お茶やお花の資格を持っている。と、できるだけ多く思いだすのです。8番目、最後は自分が最も詳しく知っていることです。難しく考えないで、好きなタレントのこと、メルヘンの物語のこと、宝石のこと、好きな国のことでもいいのです。この8つを次頁のように8角形にして大きな紙にまとめていきましょう。そうすると、自分が今まで気づけなかったのが不思議なくらい、自分がいかに多くの資産を持っているかに気づくはずなんです。自分の中のたくさんの資産を何度も何度も見つめ直してください。その中にいくつかの共通点が見えてきます。それをていねいに結んでいくのです。「このことをもっと活かせないかなあ」そう考えてみることで、心はみるみる浄化していくのです。その後にくっきりと「粋」とは何か。最初のヒントが見えてくるでしょう。

「耕作マップ」



自分の心を人に見せることはできません。でも、感じとってもらおう努力はできます。そのひとつの術がこの耕作マップなのです。履歴書からは見えないその人らしさを、自然にひきだし、人々にさりげなく伝える方法です。心は、人の心で磨かれます。閉ざされた心は、闇の中で萎えていきます。自分を表現する喜びを知った人々は、他の人々の心をも開放させる素敵な力を身につけることができるのです。さあ、あなた自身が、まずこの耕作マップをひとつずつついでいに埋めてもらいたい。

20代の女性

- ① 劇団時代の友達・子どもの習い事（スイミング・リズム体操etc）の母親・同地の友達・以前勤めていた会社仲間
- ② 子どもと同じ服の高さになって、自然やまわりの環境の中で新しい発見をした時・劇団時代は、スポットライトとお客さんの拍手・最近フラワーショップの片ずみがCAFÉになっている所を見つけ、花の香りの中でのケーキセット。そんなひとときの時間がやすらぎと感動
- ③ 1つ1つこだわって気に入ったものだけを気に入った所へおきたい、だから目につく所にでているものはどれも大切、他は片付けてしまう（ダイニングテーブルと椅子・新婚旅行で買ってもらったネックレス、時計・子どもの絵本、カード類、写真、ビデオ・キャンペーンでもらったマリアンボレのバッグ）
- ④ 一日中何かしらすることをさがして動きまわっている・いくら食べてもあまり太らない
- ⑤ 軽やかな？
- ⑥ ケーキをやいてコーヒーたてて友だちをよんで、たわいもないおしゃべり・子どもと一緒に遊んでいる時、絵本を読んでやっている時・主人、子どもと旅行やキャンプetc外へ出て楽しむ時
- ⑦ 保母をしていた(3年)・ワープロ(3級)・エレクトーン(8級)・バトン(高校時代)・電付け(2級)・運転免許・ミュージカル(12年)を通して歌って踊って芝居して、心も体も汗をかく、涙し、いろいろあった…
- ⑧ 保母をしていたこともあり、また最近早期幼児教育に興味あり、子どもに毎日遊びを通して教えている・ケーキづくり、つくって食べてもらうのがうれしい

30代の女性

- ① 子供の保育園のお母さん達・銀行員時代の友達・幼稚園からの友達・近所の奥さん
- ② 好きな映画を見た時・子供にやさしくされた時・自分の思っていることが人に通じた時・おなかの子供がよく動く時
- ③ 結婚の時もらったダイヤの指輪とブチペンダント・京都に住んでいる時買ったコーヒーカップ・子供のヘソの緒・母子手帳・好きなビデオテープ
- ④ 背が高い・高校時代から体型がかわらない・目が二重で大きい
- ⑤ 名古屋(父)と和歌山(母)のハーフ・武士・タイ・フィリピン
- ⑥ 子供が寝たあと、自分の好きなビデオを見ている時・1人でゆっくりお風呂に入っている時・寝てる時・本屋さんで、あてもなく、色々な本を見ている時
- ⑦ 邦文タイプ学校に1年通った・銀行員を8年していた・車の運転は上手・高校は体育系陸上を8年間やっていた
- ⑧ 編み物・煮物はおいしいとよくほめられる・長電話

40代の女性

- ① 子供を通じての交流あるお母様・主人の関係の属する会の奥様たち・自分の趣味を通じての友達・小さい時からの学友
- ② 常に自分を磨くことに一生懸命な人に出会ったとき、女性として美しい人に出会ったとき
- ③ 主人からプレゼントされた、スカーフやバッグの小物たち・大好きなコーヒーカップとソーサー
- ④ 常に歩くことを心がけ、どのようなカラーの服をきたら顔が美しく映えるかを常に考える・病気をしたことがない健康児
- ⑤ オランダ・父は徳島・嫁ぎ先は熊本正成の藩人
- ⑥ 昼下がりの2時～3時素敵なカフェでコーヒーとケーキを食べているとき、紅葉の舞う公園を散歩しているとき
- ⑦ 茶道教千家10年・ケーキ歴10年資格有・華道師範池字流・自動車運転歴24年・生花フラワーアレンジメント1年・アートフラワー5年・労働士資格有・書道準師範・短大英文科2年・英会話
- ⑧ 料理、お菓子づくり・インテリア、洋服のコーディネート

どの項目にも「子供」が登場する愛情の深いママですね。自分の豊かな強い表現欲求のエネルギーが、いとおいしい我が子育てるプロセスに向けられているのでしょう。自分の可能性を子育ての中でも発見しようとする姿勢は、とても魅力的です。やがて子供が育っていくにつれて、女性として妻としての時間が生まれてくるでしょう。その為にも次の結びにむけて、自分の豊かな表現という才能を磨きやすさ子育ての中で活かしていくことです。これから子供達には、自己表現の力がとても大切になります。その指導によってより多くの人々との結びが生まれるでしょう。子育ての時間をリタイアの時間とせず子育ての中にこそ自分らしさの素晴らしい点を注ぎこんでいくのです。その姿こそ新たな未来のあなたをつくる大切なプロセスになるでしょう。

家庭的で優しい心を持つ女性ですね。自分の思っていることが人に通じた時の感動をより高める為に、自分を多様に表現する方法を見つけていくと、もっと多くの人と想いを通じ合わせることができていきます。自分の中には誰もが多様なあらゆる自分を持っています。それを認め、積極的に日常の中で楽しみ、各々の個性をひきあげていく喜びを求めることによって、本当の心のバランスが生まれるのです。ワンパターンの生き方はいつかひずみが生れます。不安や衝撃に出逢っても耐えられる自分づくりとは、自分の中に応援団をつくることです。自分の応援団にいつも自分を客観視してもらうのです。粋に生きるとは、創造的に生きるということです。創造的生活の準備をいつも続けていると、それは将来の大きな資産になります。後からどんな豊かな生き方の後押しがおこります。それが、これから21世紀を生きる子供達に対しての自然の教育となっていくことでしょう。

すでに日常の中に浄化の作用をお持ちです。イメージの世界にもオリジナリティをお持ちです。意識の耕作をいろいろな習い事を通して、しっかり経験されたのでしょうか。これからはより国際的視野で、日本女性としてのユマニストUMANIST(HUMANISTの語源：国際交流人)としてのロマンと理想をお持ちになったらいいでしょう。次に、世界の国々の文化の違いによるモノの見方、感じ方の違いを耕作していくと、日本女性と世界各地の女性との結びの接点が見えてきます。それを結び、浄め、地球人としての粋の在り方を目標にしてください。地球環境に優しい生き方の世界的運動も、そんな耕結浄粋のプロセスから生まれてくるのです。

粹



粋に生きる、息に生きる、2つの「IKI」があります。粋は「すい」とも言います。又、通は「つう」にも通じます。粋に生きるというのは、自分らしくオリジナリティを持って生きるという意味です。人の振りを見て、自分も真似るのではなく、自分らしく自分の中からでてきた感じ方を大切に生きていくということです。変な比較をせず自分のいいところを活かして生きていくということです。ただ粋に生きるには、自分ともう一人の別の自分をつくって、そこから本来の自分を見つめ、その見つめている自分を社会のムードに調和させ少し社会の時流をリードしている位の気分を育てあげる、というそんな余裕が必要です。自分に埋没しないでクールに自分を見てアレンジするソフトな知性が必要なのです。

粋に生きる と 息に生きる。



息に生きるというのは、まさにそんなもう一人の自分を必要とせずまったく個人の想いの実現の為に自分を賭けていくという生き方です。自分の心に従って客観性をおさえ、むしろ主観を信じ、感性を高めていく生き方です。時流の変化や世間の評判は一切気にせず心からやりたいと思える方向へ歩みつづける生き方です。でも、どちらの「IKIいき」も活き活き、生き生き、意気意気には変わりありません。しかし、どちらの「IKIいき」にも大切なのは、ME-ISM 自分中心主義にならないこと、粋も息もあくまでも謙虚に地球の中で生かされている自然の一部としての自分を、まず意識することからすべてが始まるということを知ることです。心を空にすると粋にも息にもなれる自分が見えてきます。あなたも粋にも息にも、また交互に粋と息を使い分けて生きていける自分の存在を、あたたかく見つめ直すことから始めてみませんか。

息





粹 に生きる女性。

世界中のリゾートホテルを訪れた人々が「過去に経験したことのない独特の気配に圧倒されてしまう。」と口を揃えるホテル、アマンドリ。インドネシア、バリ島の芸術村ウブドウに在るこのホテルには、東洋文化の持つ静けさの美学が、その時間と空間に深くしみこんでいるのです。イヴシチは、このホテルでバリの歴史や文化を紹介する文化のキュレーター役を努めています。初めて彼女がこのホテルの中で出逢ったゲストとしての客達は、彼女がこのホテルの女主人だと勘違いしてしまいます。それ程イヴシチの姿は、このホテルの隙の無いたたずまいの中でまさに一服の絵のように調和しているのです。イヴシチの眼や表情には、かけらの^{感動}感動さもありません。優しさを押しつける風でもありません。ウブドウの村の気の流れにただ添ってゆらぎながら動いているような絶妙のリズムが彼女の踊りに漂っています。女性としての粋の美学を自然に身につけてしまった、そんな存在感を誰もが感じてしまうのです。彼女自身すでに孫を持つ年齢です。バリ島のサヌールでホテルを経営する資産家でもあります。イヴシチは、幼い頃から舞踊が好きでした。インドネシアの伝統音楽ガムランが聞こえてくると我を忘れて踊り始める、そんな少女だったそうです。8才の時すでにバリ島一番のレゴンダンスの名手となり、ジャカルタにもその名を知られるようになっていました。少女から女性へと成長していく過程でイヴシチは、国を代表するバロンダンスのトップダンサーとして名声を高め、海外から訪れるVIPをもてなす舞踊家として、又、インドネシアの文化と芸術のメッセンジャーとして活躍したのです。インドネシアの社交界で磨かれた気品とマナーが彼女にトップレディの風格を身につけさせたのです。イヴシチが幼い頃自分の細胞の中に在った宇宙と一体化するようなリズム感を忠実に、素直に表現した、その事がイヴシチの人生を変えていったのです。他人との比較ではなく、自分に与えられた天の声に子供らしく感じるままに応えたのでしょう。自分の中に眠る才能の息吹にしなやかに添うように応えていく為には、固定した考えを捨てることです。インドネシアのバリ島には、そんな感性が軟び踊るみずみずしい空気がいっぱいに漂っているのです。粋に生きる、それは自分のオリジナリティへのめざめです。どんなささいな事でもいい、自分の才能の小さな芽を自分の中から探しだすことです。比較論ではなく、その芽を認め水をやり育ててみるのです。そのこと自体を楽しむのです。その姿こそ粋なのです。イヴシチは、自分の才能を鼻にかけたり、トップレディとして人を見下したりする女性ではありません。今も彼女は自分の才能の芽を育てる意識の旅を楽しんでいます。だから粋なのです。彼女がぽつりと言いました「今は鉛筆を持っている時が一番楽しい」と。



Maturai

息に生きる女性。



自分の意識を一生懸命耕すことに時間をかけてきた人は、本当に自分らしい生き方がどれ程大切なことが見えてきます。他から見てみると、自分を責めて自分を追いこんで、どうするんだろう、と感じられる時期が、意識を耕す時期にあたるのでしょうか。もっと楽に生きたら、そう周囲は見るでしょう。自分を耕すというのは、まず自分にはエネルギーや能力や可能性がいっぱいあるはずだ、今迄の人生では見えなかったことが、きっといっぱい見えるはずだ、という欲求の叫びが強いからできるのです。未来を生きる飲みの力がそうさせるのです。もうひとつ、もっと自分には社会に対して少しでもいいことができるチャンスがあるはずだ、というエネルギーも極めて強いものになります。耕しの時期がすぎると、結びに入ります。結びの時期にバリ島にめぐりあった女性がいます。石田加奈さん39才 結婚16年目のクリエイターです。彼女のご主人もグラフィックデザイナーですから、彼女自身その環境を生かして、京都の地で自分のイメージーションを形にする仕事を続けています。空間をデザインしたり、商品をつくりあげたり、映像づくりや又商標としてのマークづくりもあるでしょう。ただ彼女の仕事はマイ・サイズ主義、自分が心から惚れこめ、自分の感覚を理解してくれる相手としか仕事をしないそうです。「だからいつも貧乏なの」そうつぶやく彼女ですが、本心は神経と細胞で交信しあえる人々との交流のラインが日々見えつつある、そんな時期を迎えているようです。彼女はバリ島に自分のルーツを感じました。又、バリ島に本当の人間生活の豊かさを観てしまいました。バリの貴族の家に居候がはじまり、屋敷の隅に家まで建ててしまいました。質素な暮らしの中にキラリと光る豊かさがあることを、彼女は実感で学んでいます。日本人が失ってしまったモノを大切にするもったいないという考え方や、残りのものを牛や馬や鳥にやってゴミをださない暮らし、神様に自分のしていることを問う謙虚な心を持つ暮らしがバリ島にはまだ残っているのです。加奈さんはバリ島で自分の心に素直になれ、自分なりのリズムで生きる術を見つけだすことができたのです。でも、日本人ですから京都には帰ります。京都とバリの往復の暮らしが続いています。加奈さんが本当に息に生きる術の遠親をとけた時、この日本でもバリ島と同じように質素でいて優美な未来型の暮らしを、いとも簡単にやってのけられる自分を見つけていることでしょう。息に生きる力とは場を選ばない力なのかもしれません。

きがいつて何でしょう。

生きがいとは期待です。自分が自分の未来に対する期待、自分が人に期待されてる期待、自分が人に期待する期待、自分が神に期待する期待、があります。期待するというのは、信じることです。でも信じることではありません。信じていても、もし相手が期待に応えられなかった時でも、許せるゆとりが要るのです。これを望の心といいます。生きがいが無くなったから死んでしまいたいというのは、生きがいではなく死にがいだったのです。信じても信じない、許しても許さない、このゆらぎの心こそ、生きがいを見つける心なのです。生きがいはゆらゆら揺れていつも動いています。生きがいを止めてしまうとエネルギーを失ってしまいます。生きがいを自分の懐の中に入れて窒息させないことです。生きがいに自由を与えてあげることです。だから、日々新しい生きがいが心の中に生まれていく自分を育てることしかないのです。生きがいは持つものではなく、自分から少し遠ざけて見守る子供のようなものかもしれません。いつも生きがいくんを持ってください。時々、自分一人で生きがいの展覧会を開いてみましょう。

せつて何でしょう。

幸せは、自分の感じ方で決まります。比較では見えません。優越感の幸せは、ややむなししい幸せです。幸せは、未来を生きる心から生まれます。気概ともいいます。又、幸せは感謝そのものかもしれませんが、幸せは、自分の中には少ししかないのかもしれませんが、大半は他の人の幸せに自分が関わった時、感じるものなのかもしれません。幸せとは感じるものなのです。幸せを感じる力があれば、どんな時と場においても生きていけます。わたしは、幸せを知っている。そう自信を持つことです。幸せは創造的なものです。幸せは独創的なものです。他から与えられるのみのものではありません。幸せは生まれるものです。一人でつくりえるものでもないのです。本当の創造性とは、絶妙の時を待つ心の深さから生まれます。自分の足元へ天からやってくるんです。いつもいつも幸せを感じられるシャープな感覚を持って静かに温かい心で待つのです。幸せを無理矢理つかみとることに正義を見いだした不幸な人々があります。それは幸せではありません。幸せは、誰にとっても、足元に埋まっているのです。つかみとるのではなく掘りだすのです。幸せは、半分土の中に眠っているのです。幸せは、天と地の間にあるのですから。

ときめきって何でしょう。

幸せと生きがいの意味が見えてくると、ときめきは簡単です。ときめきは、日々あなたを包みます。ときめきは、閃きでもあります。ときめきという門の中に入ると閃きが生まれます。

閃きとはアイデアです。最悪の状況でも最上のアイデアがでるのです。どうしようもない時程こんな考えがあったんだらうかという程のアイデアが生まれるのです。それは宇宙から一筋の光のようにやってきます。ときめきを生む待機心と、生きがい育て許す心から凄くアイデアが生まれ、やがてそれは人の心に伝わり、その人の中で意識となり妊娠します。

それをコンセプトというのです。そうするとその人は、あなたの心の友以上の友になります。

ギブ&テイクを超えて互恵、互敬の関係に育っていきます。ときめきは、アイデアがコンセプトに進化していく時生まれるのです。日々、アイデアを生みコンセプトを生み続ける生き方こそ幸せと生きがいの連続でときめきが響き奏でられる生き方というのです。

マリアンボレは、みなさんの幸せや生きがいをときめきにしたい。
そして、みなさんとときめきを響き奏でたい。

みなさんの幸せや生きがいをときめきに、響き奏であう為に、マリアンボレという会社は存在します。そのことに心の底から細胞の奥から気がついたのです。そのことを日々達成することの延長線上に、あらゆる社会活動が横たわっていることに気がついたんです。その中に経済活動があることにも、すべてはひとつなんです。なにも分断できないんです。大きな円の中に包まれてすべてが共存しているんです。共存がうごめき自由な螺旋の運動を繰り返しているんです。そうするとそれが実は生命活動の根源の動きだということを多くの知恵者の方々からおそわったのです。自然の摂理に従って動けば、うまくいかないわけはありません。利を追うが為の摂理への傾倒ではだめです。摂理への素直な追求の中からはじみでてるダイナミズムから利は生まれます。みなさんも一人でも多くの人に幸せや生きがいを与えるキャタリスト触媒になってください。素朴でいいです。無理はしないでいいです。まず自分で幸せや生きがいを感じる術を少しつかんだら、自然にできていくでしょう。その為にマリアンボレという会社を存分に使いこなしてください。わたしたちマリアンボレの社長から社員すべても、同じ気持ちで会社をつかいていきたいと思います。会社というのは空の輪（器）なのでから。

マリアンボレは、これから何屋さんになるのか考え尽くしてみました。



Something

人々にときめきを与える為には、いろんな商品や時や場を提供していかなければなりません。女性が美しく生き活きとした生き方のできるあらゆる仕組づくりを、事業にしようと思いを立てて歩んできたマリアンボレですが、この機会に化粧品屋さんという枠をこえて、本当に人々に幸せと生きがいを与えていける企業を目指していく上で、それにふさわしい業態の理念と名称の必要性に気づいたんです。まず、人々にときめきを与えていくにはどうしたらいいか。それを響き奏でていくには、又、生命体としての自然と人間と、生き活き粋に意気高く生きていくにはどうしたらいいか。それを日々感じつつ考えつけていける企業になりたい。そんな想いをつのらせてマリアンボレは、ときめき響奏企業になりたいと考えたのです。

マリアンボレは、ときめき響奏企業になりたいと考えました。



響

Beat Synchronizer

ときめき響奏企業

“企業理念”

私達は、個が美しく輝いて生きる歓びの時間と空間を、豊かな遊び心を持って創造し、社会と共に響き合い、美しい調べを高らかに奏でていく企業の姿を極め続けます。

BEAT=ときめき。

SYNCHRONIZE=共時性・響き合い。

SYNCHRONIZER=響奏者。

「個と全体が響き合い、宇宙は偉大なる生命の律動を奏でています。人と社会、地球と宇宙、細胞と肉体、社員と企業そして東洋と西洋、あらゆる異質の、一見相反する要素を持つ個と全体が、枠を超えて響き合うことによって未来は“気”の流れとなって絶妙の調べを奏でていくのです。」

マリアンボレは、と

これからは、水のように自然のゆらぎが常にマリアンボレは、人々の幸せ、生きがいを、ときめきに変え、例えて、あらゆる視覚表現を整え、ときめき響奏企業

個 ●

化粧品 ●

社会 ●

機関者 ●

内 面 ●

会 社 ●

身 体 ●

肉 体 ●

全 体 ●

肌 ●

企 業 ●

生活者 ●

外 面 ●

社 員 ●

組 織 ●

精 神 ●

ときめき響奏企業。

おこり続ける企業しか生き残っていきません。

響き奏でていける企業を「水」の遊びにも似た美しい動きにしてみなさんと未来に夢を共有したいと思います。

奏



シンボルの意味

マリアンボレのときめき響奏を現わすマーク。

ヒンドゥー教のシバの女王の踊りが描く手の動き、足の動きをひとつの線に現わすと、それはそのまま素粒子の動きそのもののだろう、という假説をたてた学者がいます。素粒子の動きはまだ顕微鏡でも見えません。しかし、あらゆるデータの解析によって、ほぼ予測ができるということです。西洋科学がまだ到達しえない自然界の律動に、東洋の人には数千年前にすでに気づき、日常の中で体現してしまっているのです。マリアンボレの理念であるときめき響奏の形は、東洋的宇宙観を示す「ゆらぎ」から生まれました。又、大気中を舞う「気のエネルギー」にもヒントを得ています。まさにシバの女王のダンスの動きそのものが、ときめき響奏のたおやかでしなやかなリズムを現わしているのです。部分の動きとしての個のときめきと全体の動きとしての集団の響奏をひとつの形としてマーク化したのです。

O R I E N T A L

これからは、**東洋の生活文化**が新鮮です。

500年間、東洋は西洋の支配下にありました。私達、日本人が洋服を着ているのも、コココーラを飲んでいるのも、ハンバーガーを食べているのも西洋文化の影響です。医学もドイツからきました。テーブルマナーは実は英国から、スポーツは元々はフランスからきました。アメリカを経由してやってきたものもたくさんあります。コロンブスがアメリカに侵入してから500年目の1992年から東洋の考え方が西洋の人々の生き方に影響を及ぼすようになります。風邪をひいたら風邪薬を飲む、お腹が痛んだらお腹の薬を飲み、頭なら頭の薬を飲むのが西洋式です。東洋は、頭が痛んだら足をもみ、手をもみ、気を高めることで治そうとします。人間の身体は、部分ではなく全体で動いているというのが東洋の考え方です。健康と病気を2つに分けるのは西洋、健康と病気に境目をつくらず、中心に軸を置いて左右の小さなゆらぎを健康、左右



の大きなゆらぎを病氣と判断するのが東洋です。東洋は西洋以上に科学的です。それは、自然科学です。生活科学でもあります。神様と科学が一体化しているのが東洋です。木の神様、水の神様、火の神様、土の神様、風の神様が日常の自然の中にいて、未来を教えてくれるのが東洋です。だから神様を象徴化し、ひとつに絞り込むのを日常化しなくてもいいのです。宇宙全体をひとつの神様とみなすのです。地球が崩れそうな自然破壊の時代には、東洋の考え方しか地球を救えないのです。みなさんも、自分の肉体のすべてを構成している細胞の中に東洋の深い知性と感性が眠っていることを考えてみてください。頭で考えずに、幸せと生きがいを通して意識をめざめさせて、未来はどうなるんだろうという想いをこめて感じてみてください。東洋の人には、すべてそんな力強い未来への希望を予測する力が備っているのです。

社会には、必ずときめき響奏図が存在します。

「あの人は、いつも、どうしてあんなに活き活きと美しく生きていけるんだろう。」そう感じさせる人々がいらっしゃいます。何があっても顔に出さず我慢をしているだけなのでしょうか。そうではありません。人を心から愛することを知り、自分以上に人のことを思いやれる人々には、ある日「ときめき響奏図」という社会が現われその人を受け入れるのです。どんな出来事に達してもいつも、「これは何か新しいときめきの予兆なのかもしれない、だから心を空にして、謙虚にすべてを受け入れよう。」そう考えることのできる人々にも「ときめき響奏図」が、あたたかい手を差し伸べてくれるのです。



ときめき響奏人は互恵人です。

大別して3つの考え方がこの地球社会を支配しています。互恵、互求、互奪の3つです。今迄の西洋社会は互奪社会での勝ち残りゲームでした。20世紀は、互求社会の商人の競争ゲームでした。21世紀はギブ&テイクではなくギブ&ギブの互恵人が社会をリードする時代に入ります。



ときめき響奏図人はこんな考え方を持っています。

互恵 ときめき響奏図人  ↔ 

従う法則 「世のため人の為になるほど幸せになれる」

人生の目的 「何かの為の自分」として世の中に役立つとする。

日常意識 相手に喜んでもらうにはと考えている。人の喜びを喜びとする。

周囲への作用 付き合う人が恩恵を受ける。立場の違いを活かして協力する。

周囲の反応 健在で活躍して欲しいと望まれ期待される。支持が集まる。

対人環境 恵み合い、感謝し合うつながりが多い。人が良い話を持ってくる。

互求競争図人はこんな考え方を持っています。

互求 競争図人  ↔ 

従う法則 「自分の利益を追求しなければいけない」

人生の目的 「自分のための何か」を求め、自分や家族のために働く。

日常意識 相手を利用することを考えている。人の成功がうらやましい。

周囲への作用 付き合うと利用されることが多い。立場の違う人とは対立する。

周囲の反応 別にいなくてもよいと思われる。

対人環境 利用し合うつながりが多い。油断すると足をすくわれる。

互奪狂喪図人はこんな考え方を持っています。

互奪 狂喪図人  ↔ 

従う法則 「やらなければやられる」

人生の目的 建設的でない欲望や快楽のために行動しようとしがちです。

日常意識 相手をやっつけたり奪うことを考えている。人の苦痛や失敗が面白い。

周囲への作用 付き合う人が傷つけられることが多い。敵を増やし世間を狭める。

周囲の反応 いなくなればよいと思われ、冷遇される。

対人環境 奪い合う交わりが多い。他人が悪いことを仕掛けてくる。

これが、ときめき響奏のコツです。



これが、ときめき響奏のサイクルです。

